

# 妊娠をご希望の方へ

## (1) 不妊症とは

「通常の性生活を送りながら、1年以上経過しても妊娠しない場合」のことです。  
ただし明らかな不妊原因がある場合は、期間の長さにかかわらず不妊症といえます。  
卵子の老化が問題となっています。年齢を問わず早めにご相談ください。

## (2) 不妊症の原因

妻側原因: 45%	排卵障害	: 15%
	卵管因子	: 10%
	子宮因子	: 5%
	子宮内膜症	: 15%
夫側原因: 30%		
(精子因子、性交障害)		
両方に原因: 10%		
原因不明不妊: 15%		
(明らかな原因なし)		

## (3) 不妊症の検査

基礎体温をつけましょう。



### ① いつでも良い検査

クラミジア検査(血液)、精液検査(ご主人、3~5日間禁欲後)  
子宮内膜症検査など

### ② 低温期

1. ホルモン検査(血液、月経3~7日目にFSH, LH, PRL, E2, T、甲状腺機能を調べます。)
2. 子宮卵管造影(月経終了前後に。他施設にお願いしています。)  
クラミジア検査後に。感染なら治癒後に。

### ③ 排卵期

超音波検査、子宮頸管粘液検査、尿中LH検査(排卵時期を確認します。)

### ④ 高温期

ホルモン検査(血液、高温相中期にE2, P4を調べます。)

- ・クラミジアは頸管炎、卵管炎を起こし不妊の原因になります。感染している場合、その治療前に子宮卵管造影を行うとクラミジア感染が広がる恐れがあります。
- ・精液検査：体調や採取条件で大きく値が違います。結果不良の際は再検査します。
- ・ホルモン検査：排卵障害、黄体機能不全などを調べます。
- ・子宮卵管造影：子宮内にやわらかい管を挿入して造影剤を注入し、子宮内の形や卵管の通過性を調べます。また検査により卵管の通りが良くなり、妊娠率の増加が見られます。
- ・超音波検査：卵巣や子宮内膜を観察して排卵時期を推定したり、子宮や卵巣の異常を調べます。
- ・子宮頸管粘液検査：排卵時期を推定します。

#### (4)不妊症の治療

一人一人に合う方法で実施します。以下はあくまで目安です。

当院では人工授精まで実施します。

##### ① 検査で異常が見られた場合

- ・排卵障害：排卵誘発剤、ホルモン剤、漢方薬を使用します。
- ・卵管因子：卵管通過性がないなど。腹腔鏡、ART(：生殖補助医療：体外受精・顕微授精)が必要な場合は専門施設へ紹介します。
- ・子宮因子：子宮筋腫、子宮内膜症など。合併していても妊娠可能な場合もかなりあります。  
排卵時に子宮頸管粘液不良の場合、人工授精を実施します。
- ・精子因子：精子数が少ない、元気な精子が少ないなど。  
程度が軽ければ当院で人工授精、重ければ体外受精や顕微受精が必要(他院へ紹介)
- ・性交障害：人工授精を実施します。ART(：生殖補助医療：体外受精・顕微授精)が必要な場合は専門施設へ紹介します。

人工授精とは：用手法で採取した精液を洗浄濃縮した後、細い管を使い子宮内に注入する方法。排卵誘発後、排卵推定日に行います。多くて6回まで実施し、妊娠しなければART施設へ紹介します。

##### ② 原因不明不妊：不妊症の1次検査で明らかな以上を認めないのに、タイミングを合わせても1年間妊娠しない場合

年齢や不妊期間で方針を決めます。何回か人工授精を実施する場合があります。ART(：生殖補助医療：体外受精・顕微授精)が必要な場合は専門施設へ紹介します。

#### 卵子の老化について

女性は高齢になると妊娠率が下がり流産率が上がります。ARTの生児獲得率は、34歳までは20%ですが、35歳：18%、40歳：8%、45歳：0.8%となります。そのため必要な場合は早めにARTを実施する必要がありますが、その前にまずは一般的な検査、治療(これで妊娠する場合もかなりあります)を早めに実施すべきです。